

## 審査差結果と各グループの講評

### ◎中学生の部

#### ○最優秀賞(ルイソン助左衛門賞)

関西大学中等部 フィールドワーク部 幕末探究班

「堺事件」をテーマに、堺のフィールドワークだけでなく、文献の調査も非常にわかりやすく発表にまとめていました。フランス側と日本側の認識や森鷗外と大岡昇平の事件の取り上げ方について、それぞれに比較をしている点は、とてもいい視点だったと思いました。まさに日本と世界が会うということを正面から研究発表しており、素晴らしい出来栄でした。

#### ○優秀賞

帝塚山学院中学校 歴史研究部 チーム晶子

与謝野晶子の有名な歌「君死にたまふことなかれ」という、中学生としてはなかなか骨太のテーマを選んだにもかかわらず、よく調べ上げた発表になっていました。晶子の戦争や弟や歌に対する思い、晶子の歌の変遷など、近年の研究の成果などもよく調べていたと思います。外国の影響についてももう少し具体的な内容があれば、よりよかったですでしょう。

#### ○奨励賞

帝塚山学院中学校 歴史研究部 チーム和菓子

和菓子を実際につくる体験学習や調べ学習を丹念にしていることが分かる発表でした。

菓子や砂糖についての外国との比較もデータを元にしてよく考えられた発表だと感じました。国内や外国との菓子文化の比較などは、もう少し視野を広げて調べてみたら（例えば外国ではアジア、国内では金沢や松江など）より素晴らしい発表になったことでしょう。

#### ○奨励賞

金蘭千里中学校 Team KINRAN2

堺の伝統産業、とくに鉄砲と自転車に着目して丹念に調べた発表でした。ただ、千利休の茶会に関わることなど、歴史資料としてももう少し調査や確認が必要な部分がありました。鉄砲や自転車に関する外国とのつながりや関わりは、もう少し掘り下げて調べたら面白い事例が出てくると思いました。

#### ○奨励賞

金蘭千里中学校 「中1-2」

大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）について、来訪者へのインタビューなども含めて、資料調べもよくしていたと思います。題名もよく練られたユニークなものでした。ただし、数値の写し間違いがあったのは残念でしたね。外国の墳墓との比較があれば、もっと良い発表になったでしょう。

#### ○奨励賞

帝塚山学院泉ヶ丘中学校 堺のお香調査隊

堺のお香について歴史的な流れだけでなく、茶の湯文化との関わりなどもよく調べていたと思います。発表のパワーポイントは力作でした。フランスの香水との比較だけでなく、アジアの香り文化との比較も調べていればより世界的な広がりのある内容になったと思います。

◎高校生の部

○最優秀賞(フランススコ・ザビエル賞)

帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 ウンともスンとも言わせない!!

南蛮貿易が盛んになった16世紀にポルトガルから堺へと伝わったカルタ。それをアレンジした「ウンスンカルタ」について、その遊び方や歴史的な変遷、現在の伝わり方、堺との関わりについて、調査が多岐にわたっているだけでなく、非常にわかりやすい発表でした。発表の展開の仕方もよかったですと思います。

○優秀賞

大阪府立岸和田高等学校 地歴部

「岸和田の歴史文化的な魅力」について、写真もふんだんに撮影使用しており、聞き取りも丹念にしているなど、フィールドワークが自由実していることがよくわかる発表でした。研究発表には現地調査が大切だということを再認識させてくれました。さすが地歴部という発表で、感心しました。

○特別賞 堺ユネスコ協会賞

関西大学高等部 フィールドワーク部 刀剣探究版

日本の刀剣の歴史や特徴について、よく調べた研究発表でした。パワーポイントの作り方も大学生並みの出来栄でした。また、中世日本の刀剣輸出についても資料を丁寧に調査していました。ただ、少し内容を欲張りすぎた感があります。もう少し論点を絞ったら、よりよい発表になったのではないのでしょうか。

○奨励賞

大阪府立長野北高等学校 科学同好会

古代日本における製鉄について、深い考察・調査研究がうかがえる発表でした。堺や河内についての考察もありました。今後は、この研究をもっと進めていただければと感じました。